

flow



21910328 那波真理子

福岡県朝倉市甘木

自然豊かで
福岡市内から1時間圏内
フルーツの里として農業や果樹栽培が盛ん

甘木地区

水を育み街を潤す健康文化都市
綺麗な水にしか生息しない「スイゼンジノリ」



コンセプト

水に囲まれる拠点

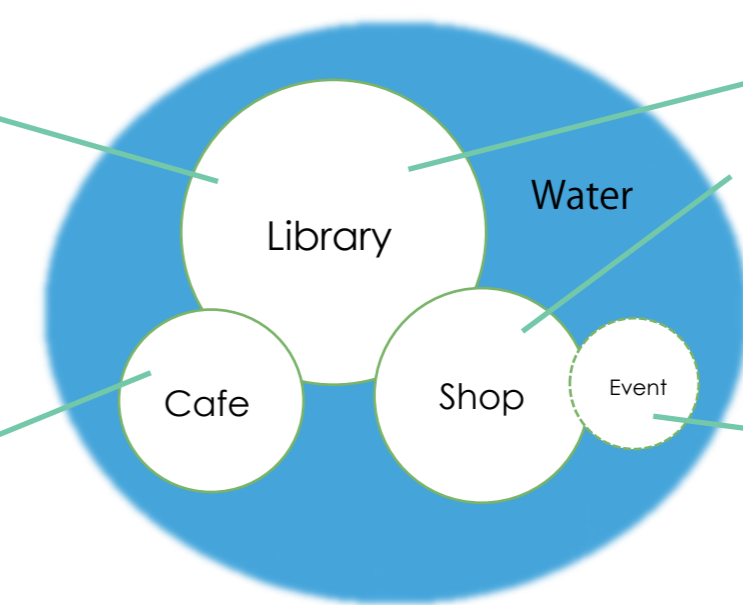
元々ある図書館を活用して、
カフェやショップを併設する図書館にリノベーション。
地元の良さ“水”を引き出す、インパクトのあるデザインとし、
地元の人にはコミュニティの場として、
観光客は朝倉市の良さを知ってもらう場として、
地域活性化を促す。

ダイアグラム

地元資源の“水”を Key Design に

新たな知識を育む
蔵書を自然やアウトドアに特化する

地域の方が気軽に休憩できる場にする
作業場として、茶話会の場として、
コミュニケーションの場にも



若い人が集まる施設にする
話題性を生み出す

地元の特産物や作家の工芸作品をはじめ、
図書館のテーマに合わせた、
自然やアウトドアグッズを紹介販売

色々な人と出会うコミュニティ

小石原境

水の街三連水車



朝倉の自然豊かな景色の象徴的な存在の朝倉三連水車。
江戸時代に設置された日本最古の実働する水車として有名。
早ばつの被害を防止して安定した生活を確保するために筑後川から取水したが、
一部では土地が高かったため自動回転式の重連水車が設置された。

ピーポート甘木



- ・大ホール
- ・中ホール
- ・託児所
- ・軽食喫茶
- ・朝倉中央図書館
- ・保険福祉センター
- ・生涯学習センター
- ・カルチャーモール



旧甘木市の市制40周年を記念して1994年に開館。
愛称「ピーポート甘木」はピープルポートの略、
ピープル（人々）が集うポート（港）のような施設という意味。
各施設を結ぶアーケードの幾何学的なデザイン。

【ショップ】



イベントを開催する際、外に向けてドアを開放し
人を呼び込むことができる

【ミーティングルーム】



様々な机の配置にしてどんな使い方も対応できる

水輪をイメージした本棚が一望でき
ファサードのガラス前面が見え、
迫力ある水の流れが壮観に見える



【閲覧スペース】



本を閲覧できる空間があり、より静かに読書できる

朝倉市中央図書館



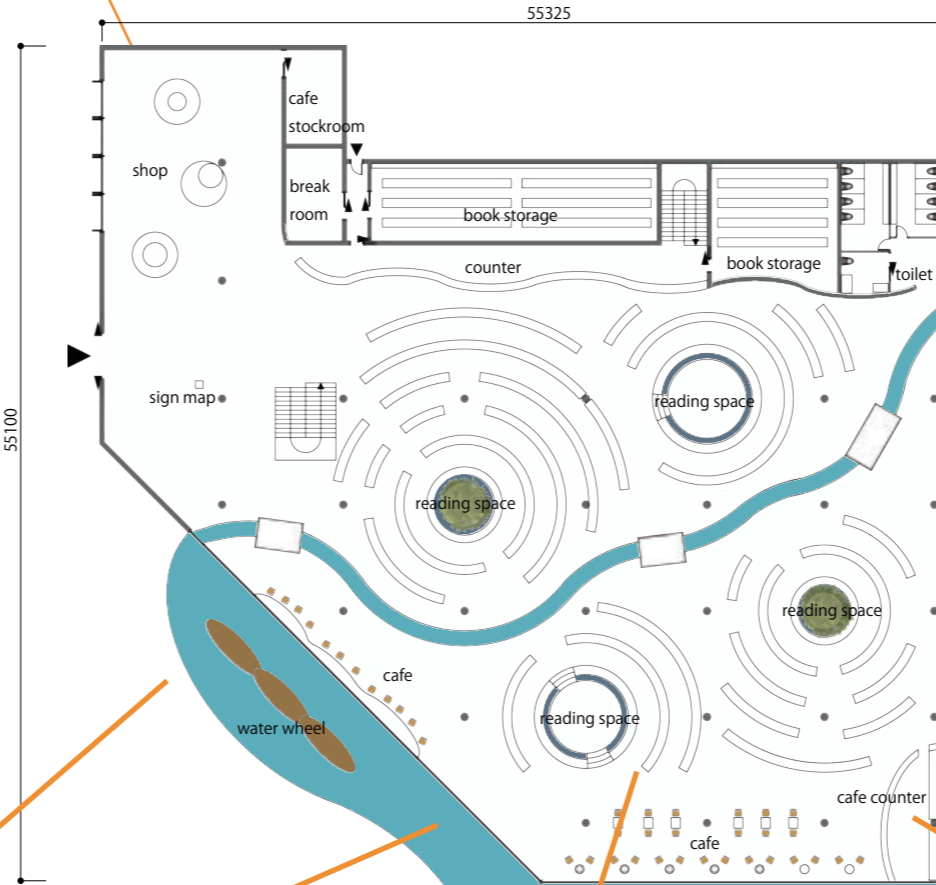
書籍、新聞のほか、
インターネットの利用やDVDの視聴もできる

【利用状況】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 18% | 14% | 11% | 22% | 15% | 16% | 24% | 17% | 21% | 15% | 18% | 19% | 18% |

↓
使用率が低く、効率的に機能していない

1/100



1F

2F

【三連水車】



水が内にも外にも流れ地元資源を感じることができる

【読書スペース】



本を読みながらコーヒーなどを楽しめる。
三連水車を眺めながらゆっくりすることもできる。

【読書スペース断面図】



本棚は水輪をイメージ。
中心には2パターンの読書スペースを設置し
気分や場所を使い分けすることができる

【カフェ】



カフェは窓側に席を配置しているため
水の流れを感じる

【学習スペース】



問題点

街全体として。

- ・人が少ない
- ・高齢者ばかり
- ・観光客が来ない
- ・交流の場が少ない

